

意見書案第4号

つくばエクスプレス東京駅延伸に関する意見書

上記の意見書案を次のとおり提出します。

平成25年9月30日

| | | |
|-----|----------|-------|
| 提出者 | つくば市議会議員 | 木村修寿 |
| 賛成者 | つくば市議会議員 | 小久保貴史 |
| | 〃 | 木村清隆 |
| | 〃 | 塚本洋二 |
| | 〃 | 浜中勝美 |
| | 〃 | 古山和一 |
| | 〃 | 柳沢逸夫 |

つくばエクスプレス東京駅延伸に関する意見書案

つくばエクスプレスは、今年で開業8周年を迎え、平成25年7月の1日当たり平均乗車人員は32万人を超えており、首都圏都市鉄道網においても非常に重要な路線となっております。

また、沿線地域では、「大都市地域における宅地開発及び鉄道整備の一体的推進に関する特別措置法」に基づき、つくばエクスプレスの建設と併せて、土地区画整理事業による良好な居住環境の整備が行われており、沿線への定住促進と企業誘致を積極的に進めることで、つくばエクスプレスの利用促進に鋭意努力しております。

国の運輸政策審議会においては、つくばエクスプレスの「東京駅延伸」の整備を検討すべき路線として位置付けられており、このことにより一層の利便性の向上が図られるものと想定されております。

一方、成田・羽田空港間を結ぶ国際都市東京に向けたプロジェクトである「都心直結線計画」が、安倍政権の日本経済再生に向けた成長戦略として閣議決定され、平成25、26年度の2か年で建設に関わる調査を実施し、平成27年度から具体的な整備検討を行うものとされております。

また、都心直結線とつくばエクスプレスの新東京駅は、同位置と想定されているため、これらを同時に建設することで費用が大きく削減されることが明確化しております。

この度、平成32年(2020年)には、東京でオリンピックが開催されることが決定したため、国際都市東京の構築に向けた動きが活発化し、都心直結線も東京オリンピックの開催に合わせて整備されることも想定されます。

都心直結線の整備及びつくばエクスプレスの東京駅延伸は、世界の各都市と空港、都心と研究学園都市を結ぶ首都圏における重要な交通網となり、つくばエクスプレス沿線地域への大きな経済効果が見込まれ、沿線都市の発展には欠かすことの出来ないものであります。

よって、本市議会は、つくば市をはじめとした沿線地域の発展に寄与するため、都心直結線の整備と同時に、つくばエクスプレスの東京駅延伸の整備が進められるよう、国及び茨城県に強く要請します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成25年9月30日

つくば市議会

提出先：国土交通大臣
茨城県知事